

# 正負の数 No.6

組 番 氏名 教師用

## 1 復習問題（個人→一斉）

(1) 次の計算をしましょう。

$$\textcircled{1} \quad (-15) + (+37)$$

$$= +(37 - 15)$$

$$\textcircled{3} \quad 0 + (-8)$$

※0との和は変化しない

$$\textcircled{5} \quad (+0.06) + (-0.5)$$

$$= -(0.5 - 0.06)$$

$$\textcircled{7} \quad \left(+\frac{2}{3}\right) + \left(-\frac{1}{4}\right)$$

$$= +\left(\frac{8}{12} - \frac{3}{12}\right)$$

$$\textcircled{2} \quad (-24) + (-8)$$

$$= -(24 + 8)$$

$$\textcircled{4} \quad (+1) + (-1)$$

※絶対値が同じで符号が異なる数の和は0

$$\textcircled{6} \quad (-3.04) + (-0.96)$$

$$= -(3.04 + 0.96)$$

$$\textcircled{8} \quad (-0.7) + \left(+\frac{1}{2}\right)$$

$$= -\left(\frac{7}{10} - \frac{5}{10}\right)$$

① +22	② -32	③ -8	④ 0
⑤ -0.44	⑥ -4	⑦ $+\frac{5}{12}$	⑧ $-\frac{1}{5}$

(2) バスに8人乗っています。次のバス停で7人、その次のバス停で3人乗車しました。このときバスに乗っている人数を求めましょう。

式: $8 + 7 + 3$	バスに乗っている人数: 18人
----------------	-----------------

前回の授業では、正負の数の加法について考えました。

今回の授業では、正負の数の加法をより速く、簡単に計算する方法について考えます。

### 今日のめあて

正負の数の加法をくふうして計算してみよう。

## 2 $(+2) + (-8) + (-2) + (+8)$ をくふうして計算してみよう。(個人→周囲→一斉)

<p>パターン1</p> $\begin{aligned} & (+2) + (-8) + (-2) + (+8) \\ = & (+2) + (+8) + (-2) + (-8) \\ = & \{(+2) + (+8)\} + \{(-2) + (-8)\} \\ = & (+10) + (-10) \\ = & 0 \end{aligned}$	<p>パターン2</p> $\begin{aligned} & (+2) + (-8) + (-2) + (+8) \\ = & (+2) + (-2) + (-8) + (+8) \\ = & \{(+2) + (-2)\} + \{(-8) + (+8)\} \\ = & 0 + 0 \\ = & 0 \end{aligned}$
--	--

# 正負の数 No.6

組 番 氏名 教師用

## ③ 用語の確認（一斉）

- ① 項 … 加法の記号 +（たす）でつながれた数のこと  
② の式では (+2)と(-8)と(-2)と(+8) の 4つ
- 加法の交換法則 … 加法の式では ① の位置 を入れかえても和は変わらないという法則のこと →  $0+\Delta$  は  $\Delta+0$  と同じ  
よって、加法の式では ① の位置 を自由に変えることができる
- 加法の結合法則 … 加法の式では 計算の順序 を変えても和は変わらないという法則のこと →  $(0+\Delta)+\square$  は  $0+(\Delta+\square)$  と同じ

※（小かっこ）をふくむ式にさらに（ ）をつける場合、{ 中かっこ } を使います。

{ ルー + ( 具材 + 水 ) } + 米 ← カレーライスを作る手順

## ④ 正負の数の加法をくふうして計算してみよう。（班→一斉）

問1：次の式をくふうして計算しましょう。

- (1)  $(+17) + (-19) + (+23) + (-31)$   
 $= \{ (+17) + (+23) \} + \{ (-19) + (-31) \}$  ← 同符号の数同士をまとめて計算する  
 $= (+40) + (-50)$
- (2)  $(-\frac{12}{5}) + (-2) + (+\frac{12}{5})$   
 $= (-2) + \{ (-\frac{12}{5}) + (+\frac{12}{5}) \}$  ← 絶対値が同じで符号が異なる数同士をまとめて計算する  
 $= (-2) + 0$  (和が 0 になる)

(1)      -10	(2)      -2
--------------	-------------

問2：次の（ ）や { } にあてはまることばを下の表から選び、おいしいギョウザを完成させましょう。

タレ + { ( ひき肉 + ニラ + キャベツ ) + 皮 }

ニラ	キャベツ	皮	タレ	ひき肉
----	------	---	----	-----

※（ ）のなかの ひき肉, ニラ, キャベツ はどの位置でも OK です。（加法の交換法則）

振り返り（わかったこと・わからなかったこと・考えたことなど）

今日の理解度：    A      B      C      （振り返りが終わったら、予習 → 問題集）
---

次回の授業では、正負の数のひき算について考えます。

# 正負の数 No.6

組 番 氏名

## 1 復習問題

(1) 次の計算をしましょう。

①  $(-15) + (+37)$

②  $(-24) + (-8)$

③  $0 + (-8)$

④  $(+1) + (-1)$

⑤  $(+0.06) + (-0.5)$

⑥  $(-3.04) + (-0.96)$

⑦  $(+\frac{2}{3}) + (-\frac{1}{4})$

⑧  $(-0.7) + (+\frac{1}{2})$

①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	⑧

(2) バスに8人乗っています。次のバス停で7人、その次のバス停で3人乗車しました。  
このときバスに乗っている人数を求めましょう。

式：	バスに乗っている人数：
----	-------------

前回の授業では、正負の数の加法について考えました。

今回の授業では、正負の数の加法をより速く、簡単に計算する方法について考えます。

## 今日のめあて

2  $(+2) + (-8) + (-2) + (+8)$  をくふうして計算してみよう。

パターン1	パターン2
-------	-------

# 正負の数 No.6

組 番 氏名

## ③ 用語の確認

- ① \_\_\_\_\_ … 加法の記号 + ( たす ) でつながれた数のこと  
② の式では (+2)と(-8)と(-2)と(+8) の 4つ
- \_\_\_\_\_ … 加法の式では ① の位置 を入れかえても和は変わらない  
という法則のこと →  $0+\Delta$  は  $\Delta+0$  と同じ  
よって、加法の式では ① の位置 を自由に変えることができる
- \_\_\_\_\_ … 加法の式では 計算の順序 を変えても和は変わらない  
という法則のこと →  $(0+\Delta)+\square$  は  $0+(\Delta+\square)$  と同じ

※ ( 小かっこ ) をふくむ式にさらに ( ) をつける場合, { 中かっこ } を使います。  
{ ルー + ( 具材 + 水 ) } + 米 ← カレーライスを作る手順

## ④ 正負の数の加法をくふうして計算してみよう。

問1：次の式をくふうして計算しましょう。

(1)  $(+17) + (-19) + (+23) + (-31)$

(2)  $(-\frac{12}{5}) + (-2) + (+\frac{12}{5})$

(1)	(2)
-----	-----

問2：次の ( ) や { } にあてはまることばを下の表から選び、おいしいギョウザを完成させましょう。

\_\_\_\_\_ + { ( \_\_\_\_\_ + \_\_\_\_\_ + \_\_\_\_\_ ) + \_\_\_\_\_ }

ニラ	キャベツ	皮	タレ	ひき肉
----	------	---	----	-----

振り返り ( わかったこと・わからなかったこと・考えたことなど )

今日の理解度： A B C (振り返りが終わったら、予習 → 問題集)
-------------------------------------

次回の授業では、正負の数のひき算について考えます。